



2026年1月5日

各位

会 社 名 株式会社 Fast Fitness Japan

代 表 者 名 代表取締役社長 山 部 清 明

(コード番号：7092 東証プライム市場)

問 合 せ 先 広報IR室長 中 村 成 宏

(TEL. 03-6279-0861)

(訂正)「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

当社が2025年12月1日付で公表いたしました「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」(以下「本プレスリリース」といいます。)について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本プレスリリースの添付資料「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード：7092) の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」について、本日、株式会社 JG35 より「(訂正) 株式会社 JG35 による「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード：7092) の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ」が公表されましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

当社が2025年12月1日に公表いたしました「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」について、一部誤記がございましたので、以下のとおり訂正いたします。

2. 訂正箇所

訂正箇所につきましては下線を付しております。

3. 本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由

(2) 意見の根拠及び理由

① 本公開買付けの概要

(訂正前)

<前略>

本取引は、当社の取締役会長であり株主である章氏（所有株式数：405,800株、所有割合：2.13%。）(注4)が、創業家の資産管理会社であるオークを通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公開買付け成立後も引き続き当社の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)に該当するとのことです。本日現在、公開買付者と当社のその他の取締役（監査等委員を含みます。）との間には、本公開買付け後の役員就任や処遇について合意はなく、本公開買付け成立後の当社の役員構成を含む経営体制については、本公開買付け成立後、当社と協議しながら決定していく予定とのことです。

(注4) なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された当社の譲渡制限付株式15,500株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：0.08%）

については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、当社が無償取得するものとされております。そのため、本スクイーズアウト手続（以下に定義します。）においては、上記割当契約書の規定に従い、本株式併合（下記「(5) 本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」において定義します。以下同じです。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）については、当社において無償取得する予定とのことです。

<中略>

また、公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、当社の創業家である（i）章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,300株、所有割合：2.05%）、（ii）大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している当社株式数：702,000株、所有割合：3.69%。）、（iii）大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している当社株式数：702,000株、所有割合：3.69%。）及び（iv）当社の従業員である高嶋淳氏（以下「高嶋氏」といいます。所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。また、章氏を除く本応募合意株主を「本応募合意株主（関係者株主）」と総称します。）との間で、公開買付応募契約（以下、章氏との間の公開買付応募契約を「本応募契約（章氏）」、本応募合意株主（関係者株主）との間の公開買付応募契約を「本応募契約（関係者株主）」といいます。）を締結し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する当社株式の全て（所有株式数の合計：2,222,980株、所有割合の合計：11.69%）を本公開買付けに応募する旨を合意しているとのことです。

<中略>

本公開買付けにおいては、公開買付者は、買付予定数の下限を3,254,600株（所有割合17.12%）と設定しており、本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の数の合計が買付予定数の下限（3,254,600株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行わないとのことです。他方、上記のとおり、公開買付者は、当社株式の全て（ただし、本新株予約権の行使により交付される当社株式及び本譲渡制限付株式を含み、本不応募株式及び当社が所有する自己株式を除きます。）及び本新株予約権の全てを取得することにより、当社株式を非公開化することを企図しておりますので、買付予定数の上限は設定しておらず、応募株券等の数の合計が買付予定数の下限（3,254,600株）以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行うとのことです。なお、買付予定数の下限（3,254,600株）は、潜在株式勘定後株式総数（19,014,352株）に係る議決権数（190,143個）に3分の2を乗じた数（126,762個、小数点以下を切上げ）から、（i）2025年12月1日時点において存在する譲渡制限付株式報酬として当社の取締役に付与された当社の譲渡制限付株式（以下「本譲渡制限付株式」といいます。）

（合計53,000株）に係る議決権の数の合計（530個）、（ii）本新株予約権（333個）の目的となる当社株式数（259,740株）に係る議決権の数（2,597個）及び（iii）本不応募株式数（9,108,900株）に係る議決権の数（91,089個）をそれぞれ控除した数（32,546個）に、当社の単元株式数（100株）を乗じた株式数（3,254,600株）としているとのことです。これは、公開買付者は、本公開買付けにおいて、当社株式の全て（ただし、本新株予約権の行使により交付される当社株式及び本譲渡制限付株式を含み、本不応募株式及び当社が所有する自己株式を除きます。）及び本新株予約権の全てを取得し当社株式を非公開化することを目的としているところ、下記「(5) 本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」に記載の本株式併合の手続を実施する際には、会社法第309条第2項に規定する株主総会における特別決議が要件とされることから、当社の株主を公開買付者及びオークのみとし、当社株式を非公開化するための一連の手続（以下「本スクイーズアウト手続」といいます。）の実施を確実に遂行すべく、本公開買付け後に公開買付者及びオークが当社の総株主の総議決権数の3分の2以上を所有することとなるようにするためとのことです。なお、本譲渡制限付株式に関しては、譲渡制限が付されていることから、本公開買付けに応募することができませんが、当社は、2025年12月1日開催の当社取締役会において、本取引の一環として行われる本公開買付けに賛同する旨の意見を表明することを決議しており、当該決議に際しては、本譲渡制限付株式を所有している取締役を含む当社の取締役

(取締役全8名のうち、章氏を除く7名)が審議及び決議に参加し、決議に参加した取締役全員が賛成の議決権を行使していることから、本公開買付けが成立した場合には、本譲渡制限付株式を所有する当社の取締役は本スクイーズアウト手続に賛同する見込みであると考えているとのことです。そのため、買付予定数の下限を考慮するにあたって、本譲渡制限付株式（合計53,000株）に係る議決権の数の合計（530個）を控除しているとのことです。なお、公開買付者は、本公開買付けにおいて、いわゆるマジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）の買付予定数の下限を設定すると、本公開買付けの成立を不安定なものとし、かえって本公開買付けに応募することを希望する当社の少数株主の利益に資さない可能性もあるものと考え、本公開買付けにおいてマジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）の買付予定数の下限は設定していないとのことです。

＜後略＞

(訂正後)

＜前略＞

本取引は、当社の取締役会長であり株主である章氏（所有株式数：405,800株、所有割合：2.13%。）（注4）が、創業家の資産管理会社であるオークを通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公開買付け成立後も引き続き当社の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)に該当するとのことです。本日現在、公開買付者と当社のその他の取締役（監査等委員を含みます。）との間には、本公開買付け後の役員就任や処遇について合意はなく、本公開買付け成立後の当社の役員構成を含む経営体制については、本公開買付け成立後、当社と協議しながら決定していく予定とのことです。

（注4）なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された当社の譲渡制限付株式15,700株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：0.08%）については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、当社が無償取得するものとされております。そのため、本スクイーズアウト手続（以下に定義します。）においては、上記割当契約書の規定に従い、本株式併合（下記「（5）本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」において定義します。以下同じです。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）については、当社において無償取得する予定とのことです。

＜中略＞

また、公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、当社の創業家である（i）章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,100株、所有割合：2.05%）、（ii）大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している当社株式数：702,000株、所有割合：3.69%。）、（iii）大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している当社株式数：702,000株、所有割合：3.69%。）及び（iv）当社の従業員である高嶋淳氏（以下「高嶋氏」といいます。所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。また、章氏を除く本応募合意株主を「本応募合意株主（関係者株主）」と総称します。）との間で、公開買付応募契約（以下、章氏との間の公開買付応募契約を「本応募契約（章氏）」、本応募合意株主（関係者株主）との間の公開買付応募契約を「本応募契約（関係者株主）」といいます。）を締結し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する当社株式の全て（所有株式数の合計：2,222,780株、所有割合の合計：11.69%）を本公開買付けに応募する旨を合意しているとのことです。

＜中略＞

本公開買付けにおいては、公開買付者は、買付予定数の下限を3,254,400株（所有割合17.12%）と設定しており、本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の数の合計が買付予定数の下限（3,254,400株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行わないとのことです。他方、上記のとおり、公開買付者は、当社株式の全て（ただし、本新株予約権の行使により交付される

当社株式及び本譲渡制限付株式を含み、本不応募株式及び当社が所有する自己株式を除きます。) 及び本新株予約権の全てを取得することにより、当社株式を非公開化することを企図しておりますので、買付予定数の上限は設定しておらず、応募株券等の数の合計が買付予定数の下限 (3,254,400 株) 以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行うとのことです。なお、買付予定数の下限 (3,254,400 株) は、潜在株式勘査後株式総数 (19,014,352 株) に係る議決権数 (190,143 個) に 3 分の 2 を乗じた数 (126,762 個、小数点以下を切上げ) から、(i) 2025 年 12 月 1 日時点において存在する譲渡制限付株式報酬として当社の取締役に付与された当社の譲渡制限付株式 (以下「本譲渡制限付株式」といいます。) (合計 53,200 株) に係る議決権の数の合計 (532 個)、(ii) 本新株予約権 (333 個) の目的となる当社株式数 (259,740 株) に係る議決権の数 (2,597 個) 及び (iii) 本不応募株式数 (9,108,900 株) に係る議決権の数 (91,089 個) をそれぞれ控除した数 (32,544 個) に、当社の単元株式数 (100 株) を乗じた株式数 (3,254,400 株) としているとのことです。これは、公開買付者は、本公開買付けにおいて、当社株式の全て (ただし、本新株予約権の行使により交付される当社株式及び本譲渡制限付株式を含み、本不応募株式及び当社が所有する自己株式を除きます。) 及び本新株予約権の全てを取得し当社株式を非公開化することを目的としているところ、下記「(5) 本公開買付け後の組織再編等の方針 (いわゆる二段階買収に関する事項)」に記載の本株式併合の手続を実施する際には、会社法第 309 条第 2 項に規定する株主総会における特別決議が要件とされることから、当社の株主を公開買付者及びオークのみとし、当社株式を非公開化するための一連の手続 (以下「本スクイーズアウト手続」といいます。) の実施を確実に遂行すべく、本公開買付け後に公開買付者及びオークが当社の総株主の総議決権数の 3 分の 2 以上を所有することとなるようにするためとのことです。なお、本譲渡制限付株式に関しては、譲渡制限が付されていることから、本公開買付けに応募することができませんが、当社は、2025 年 12 月 1 日開催の当社取締役会において、本取引の一環として行われる本公開買付けに賛同する旨の意見を表明することを決議しており、当該決議に際しては、本譲渡制限付株式を所有している取締役を含む当社の取締役 (取締役全 8 名のうち、章氏を除く 7 名) が審議及び決議に参加し、決議に参加した取締役全員が賛成の議決権を行使していることから、本公開買付けが成立した場合には、本譲渡制限付株式を所有する当社の取締役は本スクイーズアウト手続に賛同する見込みであると考えているとのことです。そのため、買付予定数の下限を考慮するにあたって、本譲渡制限付株式 (合計 53,200 株) に係る議決権の数の合計 (532 個) を控除しているとのことです。なお、公開買付者は、本公開買付けにおいて、いわゆるマジョリティ・オブ・マイノリティ (Majority of Minority) の買付予定数の下限を設定すると、本公開買付けの成立を不安定なものとし、かえって本公開買付けに応募することを希望する当社の少数株主の利益に資さない可能性もあるものと考え、本公開買付けにおいてマジョリティ・オブ・マイノリティ (Majority of Minority) の買付予定数の下限は設定していないとのことです。

<後略>

以上

(参考)

別紙 (訂正) 株式会社 JG35 による「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード : 7092) の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

2026年1月5日

各 位

会 社 名 株式会社 Fast Fitness Japan
 代表者名 代表取締役社長 山部 清明
 (コード番号: 7092 東証プライム市場)
 問合せ先 広報 IR 室長 中村 成宏
 (TEL. 03-6279-0861)

会 社 名 株式会社 JG35
 代表者名 代表取締役 中坪 武之

(訂正) 株式会社 JG35 による「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード: 7092) の株券等に
 対する
 公開買付けの開始に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

株式会社 JG35 は、株式会社 Fast Fitness Japan の普通株式及び新株予約権に対する 2025 年 12 月 2 日付公開買付届出書について、金融商品取引法第 27 条の 8 第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、公開買付届出書の訂正届出書を本日付で提出いたしました。

これに伴い、同社が 2025 年 12 月 1 日付で公表いたしました「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード: 7092) の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び 2025 年 12 月 2 日付「公開買付開始公告」の内容が別添のとおり訂正されますので、お知らせいたします。

以 上

本資料は、株式会社 JG35 (公開買付者) が、株式会社 Fast Fitness Japan (本公開買付けの対象者) に行った要請に基づき、金融商品取引法施行令第 30 条第 1 項第 4 号に基づいて公表を行うものです。

(添付資料)

2026 年 1 月 5 日付「「株式会社 Fast Fitness Japan (証券コード: 7092) の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び公開買付開始公告の訂正に関するお知らせ」

2026年1月5日

各 位

会 社 名 株式会社 JG35
代表者名 代表取締役 中坪 武之

「株式会社 Fast Fitness Japan（証券コード：7092）の株券等に対する
公開買付けの開始に関するお知らせ」及び「公開買付開始公告の訂正に関するお知らせ」

株式会社 JG35（以下「公開買付者」といいます。）は、株式会社 Fast Fitness Japan（証券コード：7092、株式会社東京証券取引所プライム市場、以下「対象者」といいます。）の普通株式（以下「対象者株式」といいます。）及び2018年3月2日開催の対象者臨時株主総会の決議に基づき発行された第5回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）の全て（ただし、本新株予約権の行使により交付される対象者株式及び譲渡制限付株式報酬として対象者の取締役に付与された対象者の譲渡制限付株式を含み、株式会社オークが所有する対象者株式及び対象者が所有する自己株式を除きます。）を取得し、対象者株式を非公開化するための取引（以下「本取引」といいます。）の一環として、金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）に基づく公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を2025年12月2日より開始しております。

今般、2025年12月2日付で提出いたしました公開買付届出書につきまして、記載事項の一部に誤記があつたこと及び当該誤記の訂正を踏まえ公開買付者が買付予定数の下限を引き下げるることを決定したことに伴い、金融商品取引法第27条の8第1項及び第2項の規定に基づき、公開買付届出書の訂正届出書を本日付で提出いたしました。

これに伴い、公開買付者が2025年12月1日付で公表した「株式会社 Fast Fitness Japan（証券コード：7092）の株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」（以下「本公開買付者プレスリリース」といいます。）及び2025年12月2日付公開買付開始公告（以下「本公開買付開始公告」といいます。）の内容を下記のとおり一部訂正いたしますので、お知らせいたします。なお、変更箇所には下線を付しております。

記

I. 本公開買付者プレスリリースの訂正内容

（訂正前）

＜前略＞

本取引は、対象者の取締役会長であり株主である大熊章氏（以下「章氏」といいます。所有株式数：405,800株、所有割合（注1）：2.13%）（注2）が、創業家の資産管理会社であるオーク（以下に定義します。以下同じです。）を通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公開買付け成立後も引き続き対象者の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注3）に該当します。

（注1） 所有割合とは、（i）対象者が2025年11月14日に公表した「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載された2025年9月30日時点の発行済株式総数（18,771,180株）から、（ii）2025年9月30日時点の対象者が所有する自己株式数（16,568株）を控除した株式数（18,754,612株）に、（iii）対象者から2025年9月30日現在残存するものと報告を受けた本新株予約権333個の目的となる対象者株式数（259,740株）を加算した株式数（19,014,352株）（以下「潜在株式勘査後株式総数」といいます。）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。以下、所有割合の計算において同じです。

（注2） なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された対象者の譲渡制限付株式 15,500株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：

0.08%)については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、対象者が無償取得するものとされております。そのため、対象者の株主を公開買付者及びオークのみとし、対象者株式を非公開化するための一連の手続においては、上記割当契約書の規定に従い、本公開買付けの決済の完了後速やかに、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第180条に基づいて行う対象者株式の併合（以下「本株式併合」といいます。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）については、対象者において無償取得する予定です。

- (注3) マネジメント・バイアウト（MBO）とは、公開買付者が対象者の役員との合意に基づき公開買付けを行うものであって対象者の役員と利益を共通にするものである取引をいいます。

<中略>

また、公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、対象者の創業家である(i)章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,300株、所有割合：2.05%）、(ii)大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、(iii)大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、及び(iv)対象者の従業員である高嶋淳氏（所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。）との間で、公開買付応募契約を締し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する対象者株式の全て（所有株式数の合計：2,222,980株、所有割合の合計：11.69%）を本公開買付けに応募する旨を合意しております。

<後略>

(訂正後)

<前略>

本取引は、対象者の取締役会長であり株主である大熊章氏（以下「章氏」といいます。所有株式数：405,800株、所有割合（注1）：2.13%）（注2）が、創業家の資産管理会社であるオーク（以下に定義します。以下同じです。）を通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公開買付け成立後も引き続き対象者の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注3）に該当します。

- (注1) 所有割合とは、(i) 対象者が2025年11月14日に公表した「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載された2025年9月30日時点の発行済株式総数（18,771,180株）から、(ii) 2025年9月30日時点の対象者が所有する自己株式数（16,568株）を控除した株式数（18,754,612株）に、(iii) 対象者から2025年9月30日現在残存するものと報告を受けた本新株予約権333個の目的となる対象者株式数（259,740株）を加算した株式数（19,014,352株）（以下「潜在株式勘案後株式総数」といいます。）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。以下、所有割合の計算において同じです。

- (注2) なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された対象者の譲渡制限付株式15,700株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：0.08%）については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、対象者が無償取得するものとされております。そのため、対象者の株主を公開買付者及びオークのみとし、対象者株式を非公開化するための一連の手続においては、上記割当契約書の規定に従い、本公開買付けの決済の完了後速やかに、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第180条に基づいて行う対象者株式の併合（以下「本株式併合」といいます。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）について

は、対象者において無償取得する予定です。

- (注3) マネジメント・バイアウト（MBO）とは、公開買付者が対象者の役員との合意に基づき公開買付けを行うものであって対象者の役員と利益を共通にするものである取引をいいます。

<中略>

また、公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、対象者の創業家である(i) 章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,100株、所有割合：2.05%）、(ii) 大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、(iii) 大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、及び(iv) 対象者の従業員である高嶋淳氏（所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。）との間で、公開買付応募契約を締結し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する対象者株式の全て（所有株式数の合計：2,222,780株、所有割合の合計：11.69%）を本公開買付けに応募する旨を合意しております。

<後略>

（5） 買付予定の株券等の数

（訂正前）

買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
9,905,452（株）	3,254,600（株）	—（株）

（注1）本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の総数が買付予定数の下限（3,254,600株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。

（注2）本公開買付けにおいては、買付予定数の上限を設定しておりませんので、買付予定数は本公開買付けにより公開買付者が取得する対象者株式の最大数（9,905,452株）を記載しております。これは、潜在株式勘案後株式総数（19,014,352株）から、本不応募株式（9,108,900株）を控除した株式数（9,905,452株）です。

（注3）単元未満株式も本公開買付けの対象としております。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合には、対象者は法令の手続に従い本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）中に自己の株式を買い取ることがあります。

（注4）本公開買付けを通じて、対象者が所有する自己株式を取得する予定はありません。

（注5）公開買付期間の末日までに本新株予約権の行使により交付される対象者株式も本公開買付けの対象としております。

（訂正後）

買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
9,905,452（株）	3,254,400（株）	—（株）

（注1）本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の総数が買付予定数の下限（3,254,400株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。

（注2）本公開買付けにおいては、買付予定数の上限を設定しておりませんので、買付予定数は本公開買付けにより公開買付者が取得する対象者株式の最大数（9,905,452株）を記載しております。これは、潜在株式勘案後株式総数（19,014,352株）から、本不応募株式（9,108,900株）を控除した株式数（9,905,452株）です。

（注3）単元未満株式も本公開買付けの対象としております。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合には、対象者は法令の手続に従い本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）中に自己の株式を買い取ることがあります。

（注4）本公開買付けを通じて、対象者が所有する自己株式を取得する予定はありません。

（注5）公開買付期間の末日までに本新株予約権の行使により交付される対象者株式も本公開買付けの対象と

しております。

II. 本公司買付開始公告の訂正内容

1. 公開買付けの目的

(訂正前)

<前略>

本取引は、対象者の取締役会長であり株主である大熊章氏（以下「章氏」といいます。所有株式数：405,800株、所有割合（注1）：2.13%）（注2）が、創業家の資産管理会社であるオーク（以下に定義します。以下同じです。）を通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公司買付け成立後も引き続き対象者の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注3）に該当します。

(注1) 所有割合とは、(i) 対象者が2025年11月14日に公表した「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載された2025年9月30日時点の発行済株式総数（18,771,180株）から、(ii) 2025年9月30日時点の対象者が所有する自己株式数（16,568株）を控除した株式数（18,754,612株）に、(iii) 対象者から2025年9月30日現在残存するものと報告を受けた本新株予約権333個の目的となる対象者株式数（259,740株）を加算した株式数（19,014,352株）（以下「潜在株式勘案後株式総数」といいます。）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。以下、所有割合の計算において同じです。

(注2) なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された対象者の譲渡制限付株式15,500株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：0.08%）については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、対象者が無償取得するものとされております。そのため、対象者の株主を公開買付者及びオークのみとし、対象者株式を非公開化するための一連の手続においては、上記割当契約書の規定に従い、本公司買付けの決済の完了後速やかに、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第180条に基づいて行う対象者株式の併合（以下「本株式併合」といいます。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）については、対象者において無償取得する予定です。

(注3) マネジメント・バイアウト（MBO）とは、公開買付者が対象者の役員との合意に基づき公開買付けを行うものであって対象者の役員と利益を共通にするものである取引をいいます。

<中略>

また、公開買付者は、本公司買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、対象者の創業家である(i) 章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,300株、所有割合：2.05%）、(ii) 大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、(iii) 大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、及び(iv) 対象者の従業員である高嶋淳氏（所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。）との間で、公開買付応募契約を締結し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する対象者株式の全て（所有株式数の合計：2,222,980株、所有割合の合計：11.69%）を本公司買付けに応募する旨を合意しております。

<後略>

(訂正後)

<前略>

本取引は、対象者の取締役会長であり株主である大熊章氏（以下「章氏」といいます。所有株式数：405,800株、所有割合（注1）：2.13%）（注2）が、創業家の資産管理会社であるオーク（以下に定義します。以下同じです。）を通じて公開買付者に出資を行う予定であり、本公司買付け成立後も引き続

き対象者の事業成長に向けて経営全般に関わっていく予定であることから、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注3）に該当します。

- (注1) 所有割合とは、(i) 対象者が2025年11月14日に公表した「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載された2025年9月30日時点の発行済株式総数（18,771,180株）から、(ii) 2025年9月30日時点の対象者が所有する自己株式数（16,568株）を控除した株式数（18,754,612株）に、(iii) 対象者から2025年9月30日現在残存するものと報告を受けた本新株予約権333個の目的となる対象者株式数（259,740株）を加算した株式数（19,014,352株）（以下「潜在株式勘案後株式総数」といいます。）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。以下、所有割合の計算において同じです。
- (注2) なお、章氏の所有株式（405,800株）のうち譲渡制限付株式報酬として章氏に付与された対象者の譲渡制限付株式15,700株（以下「本譲渡制限付株式（章氏）」といいます。所有割合：0.08%）については、割当契約書において、譲渡制限期間中に、株式の併合（当該株式の併合により付与対象者の有する株式が1株に満たない端数のみとなることとなる場合に限ります。）の効力発生日が到来する場合には、効力発生日の前営業日において、対象者が無償取得するものとされております。そのため、対象者の株主を公開買付者及びオークのみとし、対象者株式を非公開化するための一連の手続においては、上記割当契約書の規定に従い、本公開買付けの決済の完了後速やかに、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第180条に基づいて行う対象者株式の併合（以下「本株式併合」といいます。）の効力発生日の前営業日をもって、本譲渡制限付株式（章氏）については、対象者において無償取得する予定です。
- (注3) マネジメント・バイアウト（MBO）とは、公開買付者が対象者の役員との合意に基づき公開買付けを行うものであって対象者の役員と利益を共通にするものである取引をいいます。

<中略>

また、公開買付者は、本公開買付けの実施にあたり、2025年12月1日付で、対象者の創業家である(i) 章氏（本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有株式数：390,100株、所有割合：2.05%）、(ii) 大熊章太氏（以下「章太氏」といいます。章太氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、(iii) 大熊絢子氏（以下「絢子氏」といいます。絢子氏が野村信託銀行株式会社を受託者とする管理有価証券信託に拠出している対象者株式数：702,000株、所有割合：3.69%）、及び(iv) 対象者の従業員である高嶋淳氏（所有株式数：428,680株、所有割合：2.25%）（以下「本応募合意株主」と総称します。）との間で、公開買付応募契約を締結し、本応募合意株主は、本譲渡制限付株式（章氏）を除く所有する対象者株式の全て（所有株式数の合計：2,222,780株、所有割合の合計：11.69%）を本公開買付けに応募する旨を合意しております。

<後略>

2. 公開買付けの内容

(5) 買付予定の株券等の数

(訂正前)

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	9,905,452 (株)	3,254,600 (株)	—
合計	9,905,452 (株)	3,254,600 (株)	—

- (注1) 本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の総数が買付予定数の下限（3,254,600株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。
- (注2) 本公開買付けにおいては、買付予定数の上限を設定しておりませんので、買付予定数は本公開買付けにより公開買付者が取得する対象者株式の最大数（9,905,452株）を記載しております。これは、潜在株式勘案後株式総数（19,014,352株）から、本不応募株式（9,108,900株）を控除した株式数（9,905,452株）です。
- (注3) 単元未満株式も本公開買付けの対象としております。なお、会社法に従って株主による単元

未満株式買取請求権が行使された場合には、対象者は法令の手続に従い本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）中に自己の株式を買い取ることがあります。

- (注4) 本公開買付けを通じて、対象者が所有する自己株式を取得する予定はありません。
(注5) 公開買付期間の末日までに本新株予約権の行使により交付される対象者株式も本公開買付けの対象としております。

(訂正後)

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	9,905,452 (株)	<u>3,254,400</u> (株)	—
合計	9,905,452 (株)	<u>3,254,400</u> (株)	—

- (注1) 本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の総数が買付予定数の下限（3,254,400株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。
(注2) 本公開買付けにおいては、買付予定数の上限を設定しておりませんので、買付予定数は本公開買付けにより公開買付者が取得する対象者株式の最大数（9,905,452株）を記載しております。これは、潜在株式勘案後株式総数（19,014,352株）から、本不応募株式（9,108,900株）を控除した株式数（9,905,452株）です。
(注3) 単元未満株式も本公開買付けの対象としております。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合には、対象者は法令の手続に従い本公開買付けにおける買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）中に自己の株式を買い取ることがあります。
(注4) 本公開買付けを通じて、対象者が所有する自己株式を取得する予定はありません。
(注5) 公開買付期間の末日までに本新株予約権の行使により交付される対象者株式も本公開買付けの対象としております。

(11) その他買付け等の条件及び方法

- ① 法第27条の13第4項各号に掲げる条件の有無及び内容

(訂正前)

応募株券等の総数が買付予定数の下限（3,254,600株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限（3,254,600株）以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。

(訂正後)

応募株券等の総数が買付予定数の下限（3,254,400株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行いません。応募株券等の総数が買付予定数の下限（3,254,400株）以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。

以 上

【勧誘規制】

このプレスリリースは、本公開買付けを一般に公表するための記者発表文であり、売付けの勧誘を目的として作成されたものではありません。売付けの申込みをされる際は、必ず本公開買付けに関する公開買付説明書をご覧いただいた上で、株主ご自身の判断で申込みを行ってください。このプレスリリースは、有価証券に係る売却の申込みもしくは勧誘、購入申込みの勧誘に該当する、又はその一部を構成するものではなく、このプレスリリース（もしくはその一部）又はその配布の事実が本公開買付けに係るいかなる契約の根拠となることもなく、また、契約締結に際してこれらに依拠することはできないものとします。

【米国規制】

本公開買付けは、日本法で定められた手続及び情報開示基準を遵守して実施されますが、これらの手続及び基準は、米国における手続及び情報開示基準とは必ずしも同じではありません。特に米国 1934 年証券取引所法 (Securities Exchange Act of 1934。その後の改正を含み、以下「米国 1934 年証券取引所法」といいます。) 第 13 条第(e)項又は第 14 条第(d)項及びこれらの条項に基づく規則は本公開買付けには適用されず、本公開買付けはこれらの手続及び基準に沿ったものではありません。このプレスリリース及びこのプレスリリースの参照書類に含まれ又は言及されている全ての財務情報は米国の会計基準に基づくものではなく、米国の会計基準に基づいて作成された財務情報と同等又は比較可能であるものとは限りません。また、公開買付者及び対象者は米国外で設立された法人であり、それらの役員の一部又は全部は米国居住者ではないこと等から、米国の証券関連法に基づき発生する権利又は要求行使することが困難となる可能性があります。さらに、米国の証券関連法の違反を根拠として、米国外の法人及びその役員に対して、米国外の裁判所において法的手段を取ることができない可能性があります。加えて、米国外の法人並びに当該法人の子会社及び関連者(affiliate)について米国の裁判所の管轄が認められるとは限りません。また、株主が米国外の法人並びに当該法人の子会社及び関連者に米国の裁判所の管轄に従わせることができる保証はありません。

本公開買付けに関する全ての手続は、特段の記載がない限り、全て日本語において行われるものとします。本公開買付けに関する書類の全部又は一部については英語で作成されますが、当該英語の書類と日本語の書類との間に齟齬が存した場合には、日本語の書類が優先するものとします。

このプレスリリース又はこのプレスリリースの参照書類の記載には、米国 1933 年証券法 (Securities Act of 1933。その後の改正を含みます。) 第 27A 条及び米国 1934 年証券取引所法第 21E 条で定義された「将来に関する記述」(forward-looking statements) が含まれています。既知若しくは未知のリスク、不確実性又はその他の要因により、実際の結果がこれら「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された内容と大きく異なる可能性があります。公開買付者又はその関連者は、「将来に関する記述」に明示的又は黙示的に示された内容が達成されることを保証するものではありません。このプレスリリース及びこのプレスリリースの参照書類中の「将来に関する記述」は、プレスリリースの日付の時点で公開買付者及び対象者が有する情報を基に作成されたものであり、法令又は金融商品取引所規則で義務付けられている場合を除き、公開買付者、対象者又はそれぞれの関連者は、将来の事象や状況を反映するために、その記述を更新したり修正したりする義務を負うものではありません。

公開買付者及びその関連者並びにそれらの各ファイナンシャル・アドバイザー並びに公開買付代理人（それらの関連者を含みます。）は、それらの通常の業務の範囲において、日本の金融商品取引関連法規制及びその他適用ある法令上許容される範囲で、米国 1934 年証券取引所法規則 14e-5 (b) の要件に従い、対象者株式、対象者の新株予約権又はそれらに関連する有価証券を自己又は顧客の計算で、本公開買付けの開始前、又は公開買付期間中に本公開買付けによらず買付け等又はそれに向けた行為を行う可能性があります。そのような買付けは市場取引を通じた市場価格又は市場外での交渉で決定された価格で行われる可能性があります。そのような買付け等に関する情報が日本で開示された場合には、当該買付け等を行った者の英語ウェブサイト（又はその他の開示方法）により米国においても英文で開示が行われます。

【その他の国】

国又は地域によっては、このプレスリリースの発表、発行又は配布に法律上の制限が課されている場合があります。かかる場合はそれらの制限に留意し、遵守してください。本公開買付けに関する株券の買付け等の申込み又は売付け等の申込みの勧誘をしたことにはならず、単に情報としての資料配布とみなされるものとします。